

事業群評価調書(令和2年度実施)

基本戦略名	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる	事業群主管所属	福祉保健部長寿社会課
施策名	(1) いつまでも健康で活躍できる社会の実現	課(室)長名	尾崎 正英
事業群名	② 高齢者の社会参加と活躍促進	事業群関係課(室)	雇用労働政策課

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文) 高齢者のスポーツや文化活動への支援をはじめ、高齢者自らの生きがいを高め健康づくりを進める活動や、長年培った知識や経験を活かした活動等への支援を行い、高齢者の社会参加と活躍を促進します。							(取組項目) i) 長崎県ねんりんピックの開催、全国健康福祉祭への選手派遣等 ii) 高齢者の生きがいづくりや健康づくりなどの老人クラブ活動の支援 iii) 元気な高齢者が自らの知識や経験を活かして地域貢献できる仕組みづくりや活動支援			
事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) 令和元年度の長崎県ねんりんピック等の参加者数については、県ねんりんピックの競技種目の減少や、年度末に開催を予定していたシニア競技普及事業が新型コロナウイルスの影響により中止になったこと等により、目標を達成することができなかった。
	長崎県ねんりんピック等の参加者数		目標値①	5,900人	5,925人	5,950人	5,975人	6,000人	6,000人(R2)	
			実績値②	5,790人(H26)	6,331人	5,936人	6,011人	5,309人	進捗状況	
		達成率②/①		107%	100%	101%	89%		遅れ	

2. 令和元年度取組実績(令和2年度新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業対象	事業概要 令和元年度事業の実施状況 (令和2年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				令和元年度事業の成果等	中核事業	
				H30実績	うち一般財源	人件費(参考)			主な指標	H30目標	H30実績	達成率			
				R元実績						R元目標	R元実績				
R2計画	R2目標	R2実績													
1	取組項目 i	明るい長寿社会づくり推進機構費 長寿社会課	H3-	47,295	47,295	3,986	主に60歳以上の高齢者	(公財)長崎県すこやか長寿財団が行う、長崎県ねんりんピック(高齢者スポーツ大会、文化交流大会、作品展)、令和元年度全国健康福祉祭への選手派遣、すこやか長寿大学校の開催、アクティブ・エイジングサポート事業等に対する助成を行った。	活動指標	高齢者スポーツ大会等の開催回数(回)	12	15	125%	●事業の成果 ・新型コロナウイルスの影響により、年度末に開催を予定していた、シニア競技普及事業の中止等により、成果指標である参加者数の目標値を達成することができなかった。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与・高齢者の参加機会の提供を通して、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、社会活動の振興に寄与した。	○
				47,588	47,588	3,977					12	13	108%		
				47,704	45,594	3,988	根拠法令	明るい長寿社会づくり推進機構運営事業費等補助金実施要綱	成果指標	参加者数(人)	5,950	6,011	101%		
											5,975	5,309	89%		
2	取組項目 ii	老人クラブ等育成事業 長寿社会課	S38-	65,063	32,861	798	単位老人クラブ、県・市町老人クラブ連合会(中核市を除く)	単位老人クラブや県・市町老人クラブ連合会が行う、生きがいづくり、健康づくり、地域の支え合い活動等に対する助成を行った。	活動指標	事業実施単位老人クラブ数(クラブ) ※中核市を除く	1,214	1,202	99%	●事業の成果 ・単位クラブ数・活動参加者数ともに減少したものの、全ての単位老人クラブや県・市町老人クラブ連合会に対し、活動費等の助成を行ったことにより、老人クラブ活動の活性化が図られ、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、介護予防の推進及び社会参加が促進された。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与・老人クラブ活動を通じた高齢者の生きがい作り、健康づくり及び地域の支え合いの促進に寄与した。	○
				66,037	33,809	796					1,202	1,188	99%		
				65,431	32,647	798	根拠法令	在宅福祉事業費補助金交付要綱	成果指標	老人クラブ活動参加者数(人) ※中核市を除く	62,763	61,030	97%		
											61,030	58,877	96%		
							58,877								

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 長崎県ねんりんピックの開催、全国健康福祉祭への選手派遣等</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>・平成28年に本県で開催した全国健康福祉祭ながさき大会の効果もあり、県ねんりんピックへの参加者は、ながさき大会開催前より増加していたが、令和元年度については競技種目の減少等のため、327人の減となった。高齢化が進展するに伴い、要介護者や認知症の方が増加しており、高齢者の加入を促進する必要がある。 (平成27年度 4,167人→平成28年度 4,852人→平成29年度 4,439人→平成30年度 4,423人→令和元年度 4,096人) ※令和元年度 ねんりんピック等参加者数5,309人(県ねんりんピック4,096人、全国健康福祉祭145人、シニア競技普及事業905人、スクエアステップ運動98名、すこやか長寿大学卒業生数65人) ・すこやか長寿大学校について、生きがいとなる趣味の講座が主体となり、必ずしも卒業後の地域活動につながっていない。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>・高齢者の運動機能を向上させることは、介護予防や認知症予防にもつながることから、スポーツを通じた高齢者の健康・生きがいづくりを推進するため、市町とも連携しながら、シニア競技の普及活動等を引き続き行っていく必要がある。</p> <p>・すこやか長寿大学校については、地域で活躍する人材の育成に重きを置いたカリキュラムを作成し、地域活動の牽引者として活躍できる人材の育成を図る必要がある。</p>
<p>ii 高齢者の生きがいづくりや健康づくりなどの老人クラブ活動の支援</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>単位老人クラブや県・市町老人クラブ連合会に対し、活動費等の助成を行うことにより、老人クラブ活動の活性化が図られた。また、県老連においては、組織強化のため若手・女性リーダー育成研修会を開催(計109名参加)するとともに、県老連全体で会員増強運動に取り組んでいるが、高齢化による退会等のため全体としては2,153人の減となった。老人クラブ数、参加者数は減少傾向にあり、今後のさらなる高齢化に伴い、深刻化する地域の担い手不足などに対応する必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>・県老連などが行う若手リーダー等の育成、老人クラブの会員増強運動を支援していく必要がある。</p> <p>・会員数増加のための活動の誘因となるような補助金配分の見直しを検討する。</p>
<p>iii 元気な高齢者が自らの知識や経験を活かして地域貢献できる仕組みづくりや活動支援</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>・高齢者の就業・社会参加の機会の拡大を図るため、平成28年9月に関係団体とともに「長崎県生涯現役促進地域連携協議会」を設立し、国の生涯現役促進地域連携事業の採択を受けて、平成29年3月に、高齢者の方々が就業から社会参加まで幅広く気軽に相談できる窓口として開設した「ながさき生涯現役応援センター」(運営主体は協議会)では、個別相談や関係機関の紹介など相談者の希望に即した支援を行うとともに、高齢者向け・事業者向けセミナー、企業訪問等による求人開拓等に取り組み、平成30年3月には、県内全域での事業展開に向けて、佐世保市と諫早市にサテライトを開設した。新規登録者数及び進路決定者数ともに目標を達成することができたが、登録者の大多数が一部地域の住民であるなど、「ながさき生涯現役応援センター」の活動が県内全域に広がっていない状況にある。 ・企業の65歳までの継続雇用の義務化以降、シルバー人材センターの会員数は減少傾向にあり、また平均年齢も高齢化している。 ・長崎県総合就業支援センターにおける相談件数は、雇用失業情勢の変化に伴い年々減少傾向にあるため、求職者ニーズに即した体制の見直しが必要となっている。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>「ながさき生涯現役応援センター」の取組を県内全域に広げるため、社会や地域とのつながりがあると要介護状態になりにくいという研究報告もあることから、介護予防の観点からも市町と連携し、啓発や情報提供、個別相談などにより、サロンやボランティア、就業へと高齢者を橋渡しする生涯現役応援センターへと再構築を図る。 ・シルバー人材センターの会員割合が少ない女性会員や60代前半の新規会員獲得のため、派遣業務の拡大等による多様な就業機会の確保や積極的な周知・広報を図る。 ・長崎県総合就業支援センターの窓口相談の体制を見直し、これまで支援が届かなかった遠隔地等への巡回相談等を実施する。</p>

4. 令和2年度見直し内容及び令和3年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名	令和2年度事業の実施にあたり見直した内容 (令和2年度の新たな取組は「R2新規」等と記載、見直しが無い場合は「-」と記載)	令和3年度事業の実施に向けた方向性		
		所管課(室)名		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
1	取組項目 i	明るい長寿社会づくり推進機構費 長寿社会課	-	-	高齢者の生きがいがづくり、健康づくり、社会活動の振興を図るため、引き続き、長崎県ねりんピック開催等への助成を行う必要がある。	現状維持
2	取組項目 ii	老人クラブ等育成事業 長寿社会課	-	②	老人クラブの活動は、地域のつながりが希薄化している中、豊かな老後の生活に向け、活力のある高齢社会を構築していくための中核的な役割を担うものであり、今後もリーダー育成など活動費等への助成を継続することにより活動の活性化を図り、生きがいがづくり、健康づくり、介護予防等に寄与していく必要がある。 また、会員数増加のための活動の誘因となるような補助金配分の見直しを検討する。	改善
4		元気高齢者の活躍促進事業 長寿社会課	高齢者の就業・社会参加を促進するため、意欲がある高齢者を対象にした相談窓口の設置や、市町等と連携したセミナーを開催する。	②	すこやか長寿大学校については、卒業生の積極的な社会参加を促すような内容に見直ししていくとともに、生涯現役応援センターとの連携を図る必要がある。	改善
6	取組項目 iii	高齢者等雇用安定対策費 雇用労働政策課	-	⑨	高齢者等の雇用の安定に関する法律(国及び地方公共団体はシルバー人材センターの育成などに努める)に基づき、運営費補助をしている「県シルバー人材センター連合会」に対し、効率的・効果的な運営支援を図るため、派遣事業の拡大など環境変化を踏まえた助言・指導を行う。	現状維持
7		長崎で輝く！人材マッチング事業 雇用労働政策課	R2新規	⑨	様々な求職者ニーズに対応するため、令和2年度の実績に応じた事業の見直しを、年度途中においても随時実施していく。	改善

注：「2. 令和元年度取組実績」に記載している事業のうち、令和元年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要があるか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点